

岩手県東日本大震災津波復興委員会 第14回女性参画推進専門委員会の審議概要について

1 開催概要

- (1) 日 時 令和元年7月22日（月）14：00～15：45
サンセール盛岡1階ダイヤモンド
- (2) 出席者 委員11名（2名欠席）（名簿は別紙のとおり。）
- (3) 議事
 - ① いわて復興レポート2019について
 - ② 復興の取組と教訓を踏まえた提言集（仮称）について
- (4) 報告
東日本大震災津波伝承館の整備について

2 正副委員長の選任

委員長に岩手大学 菅原悦子名誉教授が、副委員長に岩手県漁協女性部連絡協議会 盛合敏子会長が選任された。

3 審議結果の概要

(1) いわて復興レポート2019について

主な発言内容は次のとおり。

[藤澤委員]

- ・ 県民の復興に関する実感を見ると、3割の方がまだ遅れているという実感を示している。県民全体が、復興が進んだと実感できるように、ニーズをしっかりと捉え、対応していく必要がある。

[村松委員]

- ・ 既存の枠組みに捉われない岩手県の取組の掲載にあたっては、既存の規制などが障害となってもうまく進められなかった事柄などについても、盛り込んでいく必要がある。

[高橋委員]

- ・ ハード面の進捗だけでなく、被災者のこころのケアやなりわい等のソフト面の現在の課題についても、被災地の現状を更に把握して委員会で共有していく必要がある。

[手塚委員]

- ・ 統計的な集計だけでは見えてこない部分についても、被災地の方々には様々な意見があるようなので、丁寧に調査分析していく必要がある。

[菅原委員長]

- ・ 改めて、復興における女性参画の推進の現状と課題について考える必要があり、一般向けの概要版とは別に、女性参画に的を絞った概要版等の資料を準備して欲しい。

(2) 復興の取組と教訓を踏まえた提言集（仮称）について

主な発言内容は次のとおり。

[神谷委員]

- ・ 提言集を英訳することも検討して欲しい。早期に大規模な復興がなされた岩手県の事例について、海外にも広く発信する必要がある。
- ・ 沿岸北部と沿岸南部の復興の進捗に差が生じている要因等について整理の上、提言集に盛り込んで欲しい。

[手塚委員]

- ・ 避難所の運営にあたり、女性や障害のある方、性的マイノリティの方、外国人の方へ、どういった配慮をしたのか、また、不備があったのかについての検証、提言を掲載して欲しい。

[平賀委員]

- ・ 震災時に現場の人たちがどういう思いを持ち、どう乗り越えたか、その経過をまとめ、復興の現場で何が必要なのかということが分かる提言にする必要がある。
- ・ 岩手県に支援で来られた団体、人たちをどう組織化し、活動してもらったのかという点についても、提言として掲載して欲しい。

[山屋委員]

- ・ 関係団体等だけでなく、沿岸市町村や民間企業、県民等からも、震災に関わる提言、教訓の事例を集めて欲しい。
- ・ 他の自治体への提言が中心となる趣旨は理解できるが、今後の岩手県内の防災の役にも立つような提言集にして欲しい。

[藤澤委員]

- ・ 受援体制の視点からも整理の上、盛り込んでいく必要がある。

[菅原委員長]

- ・ 女性参画の推進について、提言集の項目の一つとして掲載することも検討して欲しい。
- ・ 来年度以降、提言集を配布して終わりではなく、今後、普及活動や活用の仕方などを検討していく必要がある。

岩手県東日本大震災津波復興委員会女性参画推進専門委員会委員名簿

氏名	職名等	備考
菅原 悦子	岩手大学 名誉教授	委員長
盛合 敏子	岩手県漁協女性部連絡協議会 会長	副委員長
赤坂 栄里子	一般社団法人岩手県歯科医師会 理事	
植田 敦代	特定非営利活動法人w i z 理事	(欠席)
大沢 伸子	岩手県商工会女性部連合会 副会長	
神谷 未生	一般社団法人おらが大槌夢広場 事務局長	
高橋 弘美	J A 岩手県女性組織協議会 顧問	
手塚 さや香	釜石リージョナルコーディネーター協議会	
平賀 圭子	特定非営利活動法人参画プランニング・いわて 理事長	
藤澤 美穂	岩手医科大学教養教育センター 講師	
村松 文代	株式会社IBC岩手放送メディア放送本部 報道局アナウンス部	
山屋 理恵	特定非営利活動法人インクルいわて 理事長	
両川 いずみ	特定非営利活動法人いわて子育てネット 副理事長兼事務局長	(欠席)